

古書（柳） 所蔵目録

番号 391(2) 大日本水路誌 初稿 (だいにっぼんすいろし しょう) JSFI00001

刊行者 柳 樽悦

刊行年月 m25.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

- ◎ 鳥羽港及び付近の錨地の案内から、伊良湖水道、伊勢湾内の四日市港・常滑港など。
伊豆半島南方の横根礁から下田港、田子港、戸田港、ポルツモンツ礁～御前崎。
- ◎ 第二号丁卯艦の航海記 品川出航～横浜、浦賀、網代(伊豆)、川奈崎爪木崎、神子元島。
- ◎ 的矢港、清水港、神島(伊勢湾口)、答志島及び周辺、大王崎、御座港、磯港、伊豆七島、武相(相模)湾。
- ◎ 紀伊海峡(水道)、田辺～伊島(四国海岸は未実測)。
- ◎ 豊予海門(豊後水道)。
(和紙綴り冊子)

番号 391(3) 水路誌翻訳心得(すいろしほんやくこころえ) JSFI00002

刊行者 柳 樽悦

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

- 1) 緯度・経度の読み方及び方向のとり方。
- 2) 水路誌(豊瀛水路誌)の編集方法(構成)、目次の見本など
- 3) 気象/海象用語について
- 4) 距離表 主要港からのマイル数
(和紙綴り冊子)

番号 283(4) 東洋灯台表 全(とうようとうだいひょう ぜん) JSFI00172

刊行者 海軍省水路局

刊行年月 m16.08

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考 海軍水路局

日本・支那・英国の燈台表より、日本、千島列島、露国沿岸、支那沿岸、台湾、フィリピン各地の燈台、日本沿岸の浮標・立標、支那沿岸の浮標・立標、日本沿岸私設燈台

番号 6-1 東洋燈台表 全(とうようとうだいひょう ぜん) JSFI00005

刊行者 水路部

刊行年月 m19.08

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

日本・支那・韃靼海湾・堪察加・交趾・非利賓各地の燈台

番号 283(5)-1 東洋燈台表 上巻(とうようとうだいひょう じょうかん) JSFI00003

刊行者 海軍省水路局

刊行年月 m18.06

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

- 1) 上巻、日本・支那・露国・韓国各地の燈台
- 2) 下巻、澳大利・新西蘭・南太平洋諸島・東印度諸島・印度海岸・亜丁・紅海各地の燈台

番号 283(5)-2 東洋燈台表 下巻(とうようとうだいひょう げかん) JSFI00004

刊行者 海軍省水路局

刊行年月 m18.06

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

- 1) 上巻、日本・支那・露国・韓国各地の燈台
- 2) 下巻、澳大利・新西蘭・南太平洋諸島・東印度諸島・印度海岸・亜丁・紅海各地の燈台

番号 402(7) 日本全国経緯度羅針差潮候時全表(にほんぜんこくけいいどらしんさちょうこう じぜんひょう) JSFI00006

刊行者 海軍省水路局

刊行年月 m13.07

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

日本の主要港の経緯度(測量年)・羅針差(針差年号)・潮候時・干満差などを掲載。観測の都度、追加記入をしている。

番号 402(8) 局長付略暦 (きょくちようつきりやくれき) JSFI00167

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m14 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 m6~m14

明治6年、新・旧暦の比較表、
明治7年、晦望暦、潮汐表(12ヶ所)、祭日、節気と雑節、金星過日面表など。
明治13年まで綴込みとなっている。
m6~m14

番号 475(9) 曆附 海軍職員名簿 (れきつき かいぐんしよくいんめいぼ) JSFI00007

刊行者 水路寮 刊行年月 m07 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

- 1) 明治7年晦望暦、品海・鹿児島・長崎・下関・兵庫・的矢・横浜・宮古・箱館・根室・小樽・新潟の潮候時・干満差の記載あり。
- 2) 明治7年暦、祭日、節気と雑節、金星過日面表などの記載あり。
- 3) 海軍省職員名簿
水路寮 権頭 海軍大佐 柳樹悦以下90名の職名・氏名の記載あり。
- 4) 予算表(給料・諸手当・測量費など)(買物内訳表)(銅版通学生拾人満三年入費積表)
- 5) 海軍兵学寮 競闘遊戯表
- 6) 大清ニテ通商ヲ許セル諸港 上海口など15港
- 7) 測量司技術等級と月給表
- 8) 台湾島清国属地部 (図面)
- 9) 日本燈台燈船浮標礁標便覧標 明治7年1月工部省分局横浜燈台寮発行
- 10) 海上里程表 (距離表)

番号 406(10) 颶風記事 全 (ぐふうきじ ぜん) JSFI00008

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m15.05 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

ドイツ人「イルウキン、コッピン」氏編述の、大風についての英文2編を東海鎮守府に於いて翻訳したもの。
上) 1879年(明治12年)9月10日~16日のドイツ艦「プリンス・アダルベルト」号及び汽船「豊島丸」の報告記事を収録。
下) 1880年(明治13年)8月19日~27日の日本の燈台・気象台・船舶から観測日誌・航海日誌などの寄送書類を収録。

番号 408(10) 観象雑誌 第3号 (かんしょうざっし だい3ごう) JSFI00009

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m17.05 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 明治17年 東京一鹿児島、東京一八戸の経差測定成果

第三號 明治17年 5月20日~ 6月 2日 東京・鹿児島間及び明治17年11月 1日~11月14日 東京・八戸間で行われた経差測定成果
第五號 明治15年及び17年に測定した経線儀日差確定表
第十一號 明治20年8月19日 福島県西白川郡白川城址及び石川県珠洲郡高屋村石ヶ峰で実施した日食観測の報告

番号 408(10)-1 観象雑誌 第5号 (かんしょうざっし だい5ごう) JSFI00010

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m17.12 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 明治15年、17年測定の経線儀日差確定表

番号 408(10)-2 観象雑誌 第11号 (かんしょうざっし だい11ごう) JSFI00011

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m20.12 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 福島県及び石川県で実施した日食観測報告

番号 405(11)-1 水路誌編輯心得・驗潮心得・経線儀取扱心得 (すいろしへんしゅうこころえ・けんちようこころえ・けいせんぎとりあつかいこころえ) JSFI00012

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m14.05 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

- 1) 水路誌編輯心得
航海者の便益を計るにあることを以って編輯する。
記載記事の内容及び記載の順番などを詳記してある。
- 2) 驗潮心得
潮の漲落は太陰の運行に因するもので、驗潮第一の主要たり。
高低潮・驗潮棹・時計・観測間隔・観測期間・気圧など指針を記載してある。
- 3) 経線儀取扱心得
経線儀は艦船の安危に関する一大要具である、主任者を定め保護すべし。
経線儀の搬送・保管・パネ巻き方法・経線儀の比較など詳細に記載してある。

番号 405(11)-2 気象及磁気月報 (きしょうおよびじきげつぼう) JSFI00013

刊行者 海軍観象台 刊行年月 m19 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

海軍観象台が明治19年1月に観測した気象(毎日の気圧、気温、湿度、風向、風速、天気等)、地磁気(毎日の偏差値、1月4日及び1月16日の傾差値、水平分力値)の観測値をまとめた図書。観象台職員名簿も記載されている。

番号 655(12) 局長附測候表 (きょくちょうつきそっこうひょう) JSFI00014

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m10 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

板倉に設置した観象台、東京海軍観象台における測候周歲概表、風(風向・風速)、天候(全晴・霞霧・雲の種類など)、雨雪の水積、積雪、風雨鍼、寒暑鍼、結露点、湿気などを観測し、1年1枚に纏めて、印刷されている。明治14年まで。

番号 407(13) 測量報告 明治14年 (そくりょうほうこく めいじ14ねん) JSFI00015

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m16.02 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

陸州海岸測量事業明細報告、明治14年5月14日～11月13日まで、雷電艦で金華山付近から大槌湾までの、東西約10海里、南北約70海里を測量。
測点標・三角推算・潮汐験測・経度測定・緯度測定・経緯度推算表が掲載されている。

番号 403(14) 水路測令 全 (すいろそくれい ぜん) JSFI00016

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m14.04 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

我が水路局員の標準とし、一般海軍士官の余時において探討測量を務むる者が良好な報告を作製する標準となるため、水路測令を定めた。第1項から59項に亘り、野帳・地形・測深・気象・海象・基線・経緯度・磁気・尺度・原稿図・表題・測量日誌など、詳細に説明されている。

番号 403(15) 刊版 海図水路誌目録 (かんはん かいずすいろしもくろく) JSFI00174

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m19.01 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

(海図之部)
北海道南岸 5図、北海道北岸 3図、北海道西岸 2図、中土南東岸 10図、中土東岸 14図、
中土北西岸 9図、中土北岸 11図、中土南岸 11図、日本内海 16、豆南諸島 1図、
四国南岸 1図、九州 1図、九州南東岸 3図、九州南西岸 10図、九州北西岸 6図、
州南諸島 10図、朝鮮 24図、支那 24図、露西亜 8図、雑図 8図、
(水路誌之部)
寰瀛水路誌 12冊、南東水路誌 3冊、台湾水路誌 2冊、北海道水路誌 1冊、支那水路誌 2冊
(雑書之部)
颶風記事、星座略解、量地括要、水路提要、航海士必携書、東洋燈台表(上・下)、観象雑誌、測候報告、磁気報告
(雑誌之部)
水路雑誌、

番号 420(16) 刊版 海図水路誌目録 (かんはん かいずすいろしもくろく) JSFI00017

刊行者 水路部 刊行年月 m20.01 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

海軍海図寰瀛水路誌目録
海軍海図 日本海岸全図 2図、北海道 1図、北海道南岸 5図、北海道北岸 4図、北海道西岸 2図、
中土南東岸 10図、中土東岸 14図、中土北西岸 10図、中土北岸 14図、中土南岸 11図、
豆南諸島 1図、日本内海 18図、四国南岸 3図、九州 1図、九州南東岸 4図、
九州南西岸 13図、九州北西岸 6図、州南諸島 10図、朝鮮 24図、支那 21図、
安南 2図、露西亜 10図、雑図 8図
寰瀛水路誌 15冊、南島水路誌 3冊、燈台表 1冊、水路雑誌 1号～118号、
雑書 4冊

番号 280(17) 海路諸標便覧表 明治17年1月改正 (かいりしよひょうびんらんひょう) JSFI00018

刊行者 燈台局出版 刊行年月 m17.01 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

横浜燈台局発行の燈台表、燈標 55基の位置、初点、形質、燈明・等級・発光区別、射光区界、燈台高、
水面高、記事。浮標 14基の位置、着色、形容・水面高・大退潮の水深、記事。
礁標 8基の位置、着色、形容及高さ、大退潮礁の高低、記事。

番号 289(18) 海路諸標便覧表 明治21年1月改正 (かいろしよひょうびんらんひょう) JSFI00019

刊行者 通信省燈台局 刊行年月 m21.01 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

「光達距離海里尺」表を添付。
燈標 60基の位置、初点、構造、等級・燈質、明弧、燈台高、燈高、光達距離、記事。
晝標 浮標 17基の位置、着色、構造・基礎上の高さ、大低潮礁の高低、記事。
晝標 立標 9基の位置、着色、構造・基礎上の高さ、大低潮礁の高低、記事。

番号 290(19) 航路標識便覧表 明治23年1月改正 (こうろひょうしきびんらんひょう) JSFI00020

刊行者 通信省燈台局 刊行年月 m23.02 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

「光達距離海里尺」表を添付。
燈標 60基の位置、初点、構造、等級・燈質、明弧、燈台高、燈高、光達距離、記事。
晝標 浮標 17基の位置、着色、構造・基礎上の高さ、大低潮礁の高低、記事。
晝標 立標 9基の位置、着色、構造・基礎上の高さ、大低潮礁の高低、記事。

番号 266(20) 海外漂流年代記 (かいがいひょうりゅうねんだいき) JSFI00021

刊行者 大和屋喜兵衛 刊行年月 嘉永 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

虫食い等保存が悪く読み難い。崇神天皇時代より嘉永年間までの間に、日本に漂着(到着)した人物・場所などが、各天皇の時代別に順次記載されている。
(和紙綴り冊子)

番号 266(21) 遠駿豆摺実測雑記 (えんすんずかくじっそくざっき) JSFI00169

刊行者 柳 楷悦 刊行年月 m09.07 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 相豆遠三国諸島録

相豆遠三国諸島録
相模国・伊豆国・遠江国・各の各別に、「郡名・島名・周囲・直高・区・主村」を区分別に記載。
実測中の雑録。
晩香亭(柳楷悦の雅号)農事漫録: 農業関係書物名など
(和紙綴り冊子)
相豆遠三国諸島録

番号 387(22) 大日本全国沿岸里程表 (だいにっぽんぜんこくえんがんにりていひょう) JSFI00022

刊行者 *** 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

各海軍別に、旧国名毎に沿岸及び島嶼の距離を里数で表示している。
沿岸総里数 合計15,811.4 (陸岸9,131.5 島嶼6,679.9)
第一海軍区 合計 2,142.3里 (陸岸1,769.5里・島嶼372.8里)
陸中、陸前、磐城、常陸、下総、上総、安房、武蔵、相模、伊豆、駿河、遠江、三河、尾張、伊勢、志摩、紀伊、小笠原群島、
第二海軍区 合計 4,199.6里 (陸岸2,601.9里・島嶼1,597.7里)
紀伊、和泉、摂津、播磨、備前、備後、安芸、周防、長門、淡路、阿波、土佐、伊予、讃岐、豊前、豊後、日向、
第三海軍区 合計 4,823.0里 (陸岸1,787.7里・島嶼3,035.3里)
筑前、肥後、肥前、筑後、薩摩、大隈、沓岐、対馬、琉球、
第四海軍区 合計 1,643.2里 (陸岸1,386.6里・島嶼256.6里)
石見、伯耆、因幡、但馬、丹後、若狭、越前、加賀、能登、陸中、越後、羽前、羽後、佐渡、隠岐、
第五海軍区 合計 3,003.3里 (陸岸1,585.8里・島嶼1,417.5里)
陸奥、渡島、後志、石狩、天塩、北見、根室、釧路、十勝、日高、胆振、千島、
その後の改正数が部分的に若干記載されている。

番号 276(23) 大日本官民有船舶表 (だいにっぽんかんみんゆうせんぱくひょう) JSFI00023

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m13.10 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

全国官民所有の船舶を纏めて編集してある。明治13年10月各省使府県により届出があった、船舶略表により編集、役所・府県別に区別されている。
推進機、製造年月と製造地名、船質、長さ、幅、深さ、喫水船首・船尾、トン数、檣数、馬力、一時間走力、定航地名、所有主、旗章、信号符字が掲載されている。

番号 277(24) 大日本官民有船舶表 (だいにっぽんかんみんゆうせんぱくひょう) JSFI00024

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m14.10 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

全国官民所有の船舶を纏めて編集してある。明治14年10月各省使府県により届出があった、船舶略表により編集、役所・府県別に区別されている。
推進機、製造年月と製造地名、船質、長さ、幅、深さ、喫水船首・船尾、トン数、橋数、馬力、一時間走力、定航地名、所有主、旗章、信号符字を掲載する。

番号 501(25) 観台儀志 和蘭暗氏著 (かんだいぎし わらんあんしちよ) JSFI00025

刊行者 柳 樽悦 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

オランダ海軍第2等仕官「暗 設耳思」氏の著作本を、「伊賀藩 柳 樽悦」が翻訳したもの
第一章 観象総目 地球の極・天体の極・太陽・月惑星などについて
第二章 儀 器 観象台に備えるべき測器などについて
第三章 装 置 儀器(天体望遠鏡)について
第四章 儀器の設置方法及び観測の方法などについて

番号 334(26)-1 気海観瀾廣義 第4、5、6号 卷一～三 (きかいかんらんこうぎ だい4、5、6 1
ごう かん1～3) JSFI00026

刊行者 川本幸民訳 刊行年月 安政02 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

天地万物の理を窮むる学にして、上は日月星辰より下は動植金石に至るまで、その性理を論弁すると称する。
7冊からなる事典のようなもの。内容は以下のとおり。
1冊目::: 卷1～3、費西加(理学)要義、體性総論、真性(定型・碍性・分性)、氣孔(動静・引力)、仮性、分類(三態・三有)
2冊目::: 卷4、天體
3冊目::: 卷5、動、浮動直落斜落、複動、中心力、重心
4冊目::: 卷6、運重器、物體衝突
5冊目::: 卷7～9、流體総論、水、水圧、諸體本重、大氣、大氣夾雜諸氣類
6冊目::: 卷10～12、温、越歴の里失帝多、瓦爾発尼斯繆斯、前編余義
7冊目::: 卷13～15、磁石、光(光線屈折)、視学諸器、眼目視法
(和紙綴り冊子)

番号 334(26)-2 気海観瀾廣義 第4、5、6号 卷四 (きかいかんらんこうぎ だい4、5、6
ごう かん4) JSFI00027

刊行者 川本幸民訳 刊行年月 安政03 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 334(26)-3 気海観瀾廣義 第4、5、6号 卷五 (きかいかんらんこうぎ だい4、5、6
ごう かん5) JSFI00028

刊行者 川本幸民訳 刊行年月 安政04 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 334(26)-4 気海観瀾廣義 第4、5、6号 卷六 (きかいかんらんこうぎ だい4、5、6
ごう かん6) JSFI00029

刊行者 川本幸民訳 刊行年月 安政05 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 334(26)-5 気海観瀾廣義 第4、5、6号 卷七～九 (きかいかんらんこうぎ だい4、5、6
ごう かん7～9) JSFI00030

刊行者 川本幸民訳 刊行年月 安政06 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 334(26)-6 気海観瀾廣義 第4、5、6号 卷十～十二 (きかいかんらんこうぎ だい4、5、
6ごう かん10～12) JSFI00031

刊行者 川本幸民訳 刊行年月 安政07 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 334(26)-7 気海観瀾廣義 第4、5、6号 卷十三~十五 (きかいかんらんこうぎ だい4、5、6ごう かん13~15) JSFI00032
刊行者 川本幸民訳 刊行年月 安政08 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 385(27) 薩藩五代氏再伝 航海術比羅亜兒試問解 (さつぱんごだいしさいでん こうかい じゅつひらあにしもんかい) JSFI00033
刊行者 柳 方二郎 刊行年月 安政04 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

安政4年(1857年)10月から12月の間、天測計算による位置・時間の算出に関する問答集。
薩摩藩五代氏再伝
(和紙綴り冊子)

番号 385(28) 航海金針 (こうかいきんしん) JSFI00171

刊行者 愛華堂蔵板 刊行年月 嘉永06 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 愛華堂蔵板

耶蘇降世1853年(咸豊3年正月)
航海に必要な気象・海象について記載されている。
第1巻 推原、論気、論風、論颶風、観兆、審方、趨避、
第2巻 颶風図説、戒詞
第3巻 海上測船所在法、量天気法、量水程法、西洋羅針図説
(和紙綴り冊子)
愛華堂蔵板

番号 432(29) 航海全義 第三編一 (こうかいぜんぎ だい3へん1) JSFI00034

刊行者 柳 惣五郎檜悦 訳 刊行年月 m03 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

津藩航海副司であった柳が翻訳したもの。
第三編一::天文航法及び星座(星)について(病架で翻訳)
第三編二::太陽及び地球について(謹慎中に翻訳)
(和紙綴り冊子)
朱印の「五芳楼図書印」は檜悦の雅号、及び用紙に印刷してある「観象書屋」は、書齋の雅号

番号 429(30)-1 泰西演習 航海術 (たいせいえんしゅう こうかいじゅつ) JSFI00035

刊行者 勢州 練理堂 刊行年月 安政05 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

長崎伝習所でのノート、一部鉛筆書き。
緯度の起源、地球は真球なり、平面への展開図、緯度・経度の幅、月の運動、天測による位置など色々と 筆・鉛筆で記入されている。
泰西演習航海術推算 卷2編と重複している処もある。
(和紙綴り冊子) 練理堂は、柳本人の雅号

番号 429(31)-2 泰西演習 航海術推算 (たいせいえんしゅう こうかいじゅつすいさん) JSFI00036

刊行者 *** 刊行年月 安政05 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 392(32)-1 **操帆新式航海通 第2編(航操全書)(そうはんしんしきこうかいつう だい2へん (こうそうぜんしょ))** JSFI00037

刊行者 柳 惣五郎 樽悦 訳 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

- 伊勢国 濃浦艦航海官 であった、柳 惣五郎樽悦が翻訳したもの。
- 航海運転規範 第4編 第1套～第6套 (伊賀国兵艦航海教頭 柳樽悦訳)
帆船の航法(操船法)、(1)台風時の操法、(2)順風時の操法、海上静止法、遷流(海潮流)時の操法、(3)海上占立及び静止法(投錨)、(4)痴流游転法(油による波浪減少法)、(5)遷流(海潮流)に対する操船法、(6)遞運運など(転錨・シフト・曳船)の方法
 - 航操新書 操帆新式航海通 第2編 第42章～第128章 (第1套～第5套)
(1)諸帆装着(結纜)、結索法、(2)諸帆脱収法、(3)楼帆交換法(装置帆の交換)、(4)諸帆放開(諸帆の乾燥法)
(5)投錨して帆布の乾燥法
 - 帆船・大船航海運転通考 第2編 第6套～第11套 (伊勢「濃浦艦」航海官 柳惣五郎樽悦 訳)
(6)帆褰短縮法(強風時に帆を縮める法)、(7)褰積伸延法(帆布の増着法)、(8)布帆の展張法(微風～列風の展張法)、
(9)緩操、布帆落御帆(布帆の除脱法)、(10)諸帆装展用則(操船に関する注意事項、気象・海象、自船の状況など)
(11)諸帆の利用(帆布、マストなど諸々の利便について)
 - 歩兵操練雑記(柳樽悦書) 歩兵の色々な隊列・整列、隊列行進、号令について
 - 野堡演習記聞 初稿 第二(柳樽悦書) 野堡の形状などについて(見取り図などあり)
 - 水路誌翻訳心得
震瀛水路誌の構成、目次の配列、記事・用語のこと。
里程表(横浜・神戸・下関・長崎・鹿児島・函館・釜山・上海・青森・浦賀)から 単位は「里」シーマイル
 - 「フルハーレンハンデ ステンクウイントレーフ」 著者ステンクウイントレーフ
帆船の装備及び操帆術を訳したもの。
(第10套)諸帆装展用則(色々な状況、夜間などの布帆の装展法)

番号 392(33)-2 **航海運転規範 第4編(こうかいうんてんきはん だい4へん)** JSFI00038

刊行者 柳 樽悦 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 392(34) **操帆術(そうはんじゅつ)** JSFI00039

刊行者 柳 樽悦 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

帆船の操縦に必要な操帆についてのオランダ語の解説書の翻訳書。筆字で和紙に書かれており、詳細な装具等の絵も画かれている。

番号 431(35) **航測推歩布式(こうそくすいほふしき)** JSFI00040

刊行者 柳 樽悦 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

オランダ海軍第二等士官 暗設耳思の指導の下、柳樽悦が
船上で測得した太陽の下辺の視地高度から、その中心実高度を求める
船上で測得した太陽の上辺の視地高度から、その中心実高度を求める
太陽の赤緯の昇赤緯変時及び赤緯、時差総を求める
太陽の往行時を求める

番号 341(36) **航海・測量略語箋(こうかい・そくりょうりやくごせん)** JSFI00041

刊行者 柳 樽悦 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

航海及び水路測量に使用する主な英語の和訳をまとめたもの。筆字で和紙に書かれている。

番号 324(37) **返照測器詳解(へんしょうそつきしょうかい)** JSFI00042

刊行者 柳 樽悦 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

海上で位置測定に使用する六分儀についての解説書の訳本。原理、使用方法について詳細に述べられている。筆字で和紙に書かれている。巻頭に伊賀藩航海教頭 柳惣五郎樽悦編・譯述と書かれている。

番号 228(38)-1 **海軍歴史 1(かいぐんれきし 1)** JSFI00043

刊行者 勝 安芳 刊行年月 m22.03
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

あまり知られていない徳川幕府海軍の事情が忘却されることを懸念した海軍次官樺山資紀が、海軍創設から発展に寄与した勝海舟に依頼して、その歴史を記述したもの。本書は、明治22年3月海軍省発行のもので、徳川幕府海軍創立の起因から慶応年間までの歴史が巻一から巻廿五まで九冊にまとめられている。

番号 228(38)-2 海軍歴史 2 (かいぐんれきし 2) JSFI00044

刊行者 勝 安芳
備考

刊行年月 m22.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 228(38)-3 海軍歴史 3 (かいぐんれきし 3) JSFI00045

刊行者 勝 安芳
備考

刊行年月 m22.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 228(38)-4 海軍歴史 4 (かいぐんれきし 4) JSFI00046

刊行者 勝 安芳
備考

刊行年月 m22.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 228(38)-5 海軍歴史 5 (かいぐんれきし 5) JSFI00047

刊行者 勝 安芳
備考

刊行年月 m22.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 228(38)-6 海軍歴史 6 (かいぐんれきし 6) JSFI00048

刊行者 勝 安芳
備考

刊行年月 m22.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 228(38)-7 海軍歴史 7 (かいぐんれきし 7) JSFI00049

刊行者 勝 安芳
備考

刊行年月 m22.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 228(38)-8 海軍歴史 8 (かいぐんれきし 8) JSFI00050

刊行者 勝 安芳
備考

刊行年月 m22.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 228(38)-9 海軍歴史 9 (かいぐんれきし 9) JSFI00051

刊行者 勝 安芳
備考

刊行年月 m22.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 237(39) 万国船舶信号 (ばんこくせんぱくしんごう) JSFI00052

刊行者 海軍省水路寮
備考

刊行年月 m09.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

海上においては、船舶間の通信に国際信号旗が使用される。そのために、世界各国の言語の違いに関係なく意思の疎通を図るために、あらかじめよく使う文例を信号旗1枚、信号旗2又は3枚を組み合わせたものに割り当てて、国際的に統一した国際信号が決められている。

それをまとめた図書

各国商船が掲げる国旗、萬國船舶信號旗、海上衝突予防法規則、溺者療法、日本海軍艦名録(23隻)、日本船名録(83隻)も掲載されている

番号 325(40) **海軍省報告 M12年7月～M13年6月 (かいぐんしょうほうこく M12ねん7がつ～M13ねん6がつ)** JSFI00053

刊行者 海軍省
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

明治12年度(明治12年7月から明治13年6月まで)の海軍の沿革・成績をまとめ、事業の改良・進歩に発展させることを目的に編纂した報告書
内容は、海軍総人員、庶務、人事、艦船、兵員、兵器、図書、学術、測量、医事、職工、雇入外国人、賞与、扶助、法律、刑罰、土地、石炭、
経費の多岐にわたっている。

番号 326(41) **海軍省報告 M13年7月～M14年6月 (かいぐんしょうほうこく M13ねん7がつ～M14ねん6がつ)** JSFI00054

刊行者 海軍省
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

明治13年度(明治13年7月から明治14年6月まで)の海軍の沿革・成績をまとめ、事業の改良・進歩に発展させることを目的に編纂した報告書
内容は、海軍総人員、庶務、人事、艦船、兵員、兵器、図書、学術、測量、医事、職工、雇入外国人、雇入外国人、賞与、扶助、法律、刑罰、土地、
石炭、石炭、経費の多岐にわたっている。

番号 327(42) **海軍省報告 M14年7月～M15年6月 (かいぐんしょうほうこく M14ねん7がつ～M15ねん6がつ)** JSFI00055

刊行者 海軍省
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

明治14年度(明治14年7月から明治15年6月まで)の海軍の沿革・成績をまとめ、事業の改良・進歩に発展させることを目的に編纂した報告書
内容は、海軍総人員、庶務、人事、艦船、兵員、兵器、図書、学術、測量、医事、職工、雇入外国人、雇入外国人、賞与、扶助、法律、刑罰、土地、
石炭、石炭、経費の多岐にわたっている。

番号 328(43) **海軍省報告 M15年7月～M15年12月 (かいぐんしょうほうこく M15ねん7がつ～M15ねん12がつ)** JSFI00056

刊行者 海軍省
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

明治15年7月から明治15年12月までの海軍の沿革・成績をまとめ、事業の改良・進歩に発展させることを目的に編纂した報告書
内容は、海軍総人員、庶務、人事、艦船、兵員、兵器、図書、学術、測量、医事、職工、雇入外国人、雇入外国人、賞与、扶助、法律、刑罰、土地、
石炭、石炭、車馬、経費の多岐にわたっている。

番号 329(44) **海軍省報告 M16年1月～M16年12月 (かいぐんしょうほうこく M16ねん1がつ～M16ねん12がつ)** JSFI00057

刊行者 海軍省
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

明治16年1月から明治16年12月までの海軍の沿革・成績をまとめ、事業の改良・進歩に発展させることを目的に編纂した報告書
内容は、海軍総人員、庶務、人事、艦船、兵員、兵器、図書、学術、測量、医事、職工、雇入外国人、雇入外国人、賞与、扶助、法律、刑罰、土地、
石炭、石炭、車馬、経費の多岐にわたっている。

番号 288(45) **海軍省明治21年年報 (かいぐんしょうめいじ21ねんねんぼう)** JSFI00058

刊行者 海軍省
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

海軍省明治21年の報告書
内容は、第一編 総叙…官制、軍制、測量、経費 第二編 人事…人員、徴募、恩給、教育、刑罰、囚人、患者
第三編 物件…造船、兵器、軍需、土木 から成っている。

番号 332(46) **博物新編 二集 (はくぶつしんへん 2しゅう)** JSFI00059

刊行者 英国医士合信
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

清代に英国人合信(ベンジャミン・ホブソン)が漢文で著した博物学書
二集は、天文編で、天文概論に始まり、太陽、日食、月、月食、惑星、潮汐等についての記述 三集は、生物編で各種動物の絵も多数画かれた
動物図鑑に近い内容である。和紙に印刷されている。

番号 476(47) **窮理通 (きゅうりつう)** JSFI00060

刊行者 ***
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 345(48)-1 銃子径量便覧 2 (じゅうしけいりょうびんらん 2) JSFI00061

刊行者 金子勝現算編、柳檜 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

砲弾の重量に対する砲弾の直径を計算した表。単位は、重量は匁、貫で直径は、寸で表示してある。表五は、砲弾の重量五百匁から一貫目までを四匁ごとに対する砲弾の直径の寸法。表六は、砲弾の重量一貫目から十貫目までを百匁ごとに対する砲弾の直径の寸法。表七は、砲弾の重量十貫目から百貫目までを五百匁ごとに対する砲弾の直径の寸法が表にしてある。和紙に筆字で書かれている。

番号 345(48)-2 銃子径量便覧 3 (じゅうしけいりょうびんらん 3) JSFI00062

刊行者 金子勝現算編、柳檜 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

砲弾の直径に対する砲弾の重量を計算した表。砲弾の直径が一分から一尺三寸五分までを一分ごとに対する砲弾の重量が表にしてある。

番号 230(49) 蒼海遺稿 (そうかいこう) JSFI00063

刊行者 佐々木哲太郎 刊行年月 m38.05
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

明治時代の官僚、政治家だった副島種臣は滄海と号し、明治天皇の侍講を務める程の高い学識を有し、数多くの書、詩文そして書家としても優れた作品を残したが、それ等を門人の佐々木哲太郎がまとめ編集した書

番号 292(50) 支那海軍沿革志稿 全 (しなかいぐんえんかくしこう ぜん) JSFI00064

刊行者 海軍参謀本部 刊行年月 m23.01
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

日本海軍将校が隣邦海軍沿革の要領を知る一助とするために、支那年月 道光22年(1843年)より光緒15年(1890年)に至るまでの支那海軍創設以来の変遷の概要を記述した図書

番号 285(51) 海軍水雷問答 全 (かいぐんすいらいもんどう ぜん) JSFI00065

刊行者 参謀本部海軍部 刊行年月 m19.06
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

海軍将校に水雷術の原論・新技術の原理を普及するために編した図書 具体的な例を問答形式にして記述してある。

番号 317(52) 英国海軍官名録 全 (えいこくかいぐんかんめいろく ぜん) JSFI00066

刊行者 *** 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

英国海軍の官名およびその和訳をまとめた書

番号 422(58)-1 造船誌料 第2集 (ぞうせんしりょう だい2しゅう) JSFI00067

刊行者 *** 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

造船誌料第二集、第三集、第八集から成る。第二集及び第三集は、フランス海軍の「海軍軍務及び艦隊新定則」の訳本で、第二集は、艦隊戦争(大海戦)について、第三集は、海岸戦争・港湾攻撃及びその防禦について、海戦の目的、指揮官としての戦術上の任務、軍艦の装備の要件・工夫を戦争例を示して説明している。第八集は、1883年11月17日出版の「アーミエンズネビーガゼット第1243号」よりの抄出で、具体的な船名を挙げて建造費、改造費、構造、性能等の良否についての評論が述べられている。

番号 422(58)-2 造船誌料 第3集 (ぞうせんしりょう だい3しゅう) JSFI00068

刊行者 *** 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 422(58)-3 造船誌料 第9集 (ぞうせんしりょう だい9しゅう) JSFI00069

刊行者 *** 刊行年月
備考

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

- 番号 422(59) **現行木船検査規定 全(付別表)(げんこうもくせんけんさきてい ぜん(べつびょうつき))** JSFI00165
- 刊行者 發兌 磯部屋書店 刊行年月 m39.02 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 磯部屋書店
- 明治34年1月1日より施行の、木造船設備規程。
第1章から20章に構成されている。
付別表は、第1号から第6号まであり、建造材料を定めている。
磯部屋書店
-
- 番号 278(60) **海軍兵学寮 記事 卷之上(かいぐんへいがくりょう きじ かのじょう)** JSFI00070
- 刊行者 海軍兵学校 刊行年月 m14.11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
- 明治2年9月18日より明治5年12月2日までの海軍兵学寮(創設時は海軍操練所)の変遷を逐年次に記述した報告書
-
- 番号 375 **水交雑誌第壹号(すいこうざっしだい1ごう)** JSFJ00100
- 刊行者 水交社 刊行年月 m20.03 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
- 水交社員の急務 海軍に必要な海上兵法、運用術、砲術、水雷術、機関術、造船術、軍医術などの専門学術を研究し、才識知能の磨礪に励むこと海軍兵法と造船術との関係 ルイ・エミール・ベルダン著の訳文 艦隊を編成し運用するには、兵法と造船術が全く相い連結すべきであることを例を挙げながら記述
東洋気候及び海流の大略 肝付兼行の口演 地球の回転力、それに伴う空気、海水の流れを季節ごとに述べ、航海術には水路誘導術が相伴う、そのためには東洋の海路、地勢、天候、風候などを研究し、その実用を図ることを希望する
-
- 番号 278(61) **歩兵操練 雑記(ほへいそうれん ざっき)** JSFI00071
- 刊行者 勢州 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
- 兵士が実戦の進退に即時に対応できるための演習方法を号令や隊列等の絵も入れて記述されている。所々に鉛筆書きの説明や絵が画かれたページもある。和紙に筆書きである。
-
- 番号 278(62) **野堡演習記聞 初稿第2(やほうえんしゅうきぶん しょうだい2)** JSFI00072
- 刊行者 柳 楷悦 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
- 野堡の築造技術に関する手書き翻訳書 野堡の形状、周りの濠、地下道等の築造について、具体的な絵も入れて記述されている。和紙に筆字で書かれている。
-
- 番号 478(63) **砲術術語集(ほうじゅつじゅつごしゅう)** JSFI00073
- 刊行者 柳 楷悦 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
- オランダ語の翻訳書。軍関係の用語(大砲、砲弾、海戦、堡壘等)が殆ど。和紙に毛筆で書かれている。
裏表紙に「嘉永三戌五月四日 東都於官舎南窓下写之」と書かれている。
-
- 番号 330(64) **カノン・寸法及目方表草稿(かのん・すんぼうおよびめかたひょうそうこう)** JSFI00074
- 刊行者 柳 楷悦 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
- カノン砲を性能により一級から十級に分け、級ごとの寸法、重量をオランダの単位(エル、バルム、ドイム、レイン、ピュント、ポンド)で表現した表、これを日本の単位(貫、匁、厘、寸、分)に換算した表。その他に、砲弾ごとの信管の寸法、(単位:寸、分、厘)と発火する時間(秒)設定の表、砲弾の装薬の量と砲身の仰角に対する飛弾距離の表等も一緒に綴られている。和紙に毛筆で書かれている。
-
- 番号 362(65) **随筆及日記(ずいひつおよびにっき)** JSFI00075
- 刊行者 柳 楷悦 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
- 水路局長時代の柳楷悦が明治11年に太政官辞令を受けて渡航し、英・佛・独・蘭・米国などの観象台、気象台を視察した際の日記の一部 磯野健少尉が局長に随行している。日記は3月11日 新橋出発、見送り者真木少将ほか数十人、横浜で佛国郵船チープル号に乗船、12日払暁出港 食事の朝食、午前正膳、中餐、午後正餐、夜餐、喫煙等について、13日汐ノ岬通過までがかなり詳細に記述されている。和紙に筆字で書かれている。
随筆は、行書体の達筆で読めず 和紙に筆字で書かれている。

番号 342(66)-1 安政6年8月14日御旗本操練 (あんせい6ねん8がつ14にちおはたもとそうれん) JSFI00076

刊行者 ***
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

①安政6己未年(1859年)8月14日 御旗本操練(柳部長27才時の手記)小隊行進配置図、砲隊行進と実射隊列図、大隊行進と

番号 342(67)-2 萬延元年3月御操練 (まんえんがねん3がつおんそうれん) JSFI00077

刊行者 ***
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

②万延元庚申年(1860年)閏3月御操練大隊配列図、大砲4門前面配置図、大隊行進配列図など。(大隊組織の名称あり)。

番号 342(68)-3 文久2年3月16日御旗本操練 (ぶんきゅう2ねん3つき16にちおはたもとそうれん) JSFI00078

刊行者 ***
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

③文久壬戌2年(1862年)3月16日 御旗本操練 隊列に騎銃隊の名称が記載される。到着之図(4中隊配列図)、大隊縦隊行進之図、大隊戦隊行進図、方陣・円陣の図、大隊隊列行進図など。

番号 水路共学会報告第一号 (すいろきょうがっかいほうこくだい1ごう) JSFJ00102

刊行者 水路共学会
備考

刊行年月 m17.05

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

本會の沿革 明治17年5月発足した「水路学会」の基礎を強化し、会名を「水路共学会」と改称、明治18年1月24日に集會、発足第2回大集會要録(明治19年2月20日) 會計報告(明治18年1月～明治19年1月)、肝付兼行、加藤重成の演説、役員の変更第13回小集會要録(明治19年5月22日) 海流論(岩間侃次郎訳演) 海水の循環、紅海、地中海の海面海流、地中海の海底の海流、印度洋の海流、太平洋の暗黒海流について 地球の形状及び大小の略説 胥佛念氏の「天文学」の抄訳 地球の形状について

番号 358(69) 海獸類 (かいじゅうるい) JSFI00079

刊行者 柳 樽悦
備考

刊行年月 m16.09

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

海類(ラッコ)、朧獸(オットセイ)、海豚(いるか)、鯨(くじら)の分布、棲息場所、習性、獵場、獵期、獵法等について具体的に詳細に記述されている。捕鯨については、漁船、漁夫、賃金についても記述されている。

番号 262(70) 宮城県水産一覽表 宮城県第一部 (みやぎけんすいさんいちらんひょう) JSFI00080

刊行者 農商課編纂
備考

刊行年月 m21.05

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

宮城県第一部農商課が編纂した宮城県の漁業の景況、需要、供給の程度を表示してある。漁業の盛衰消長を知得するために作成されたもので、宮城県各郡の各種水産物の産額・水産消費量・漁業家の戸数・重要水産物輸出販路先及び金額が表にまとめられている。103cm×74cm大の紙にカラー印刷されている。

番号 480(71) 日本有用水産分類表 (にほんゆうようすいさんぶんるいひょう) JSFI00081

刊行者 農務省水産局
備考

刊行年月 m22.07

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

農務省水産局が日本水産史を編纂するにあたり、その中の有用水産誌に属する水産物を種類別に分類した表

番号 480(72) 日本水産製品分類表 (にほんすいさんせいひんぶんるいひょう) JSFI00082

刊行者 農務省水産局
備考

刊行年月 m22.07

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

農務省水産局が日本水産史を編纂するにあたり、その中の製品誌に属する水産物を製品化する方法を分類した表

番号 480(73) 日本水産捕採器分類表 (にほんすいさんほさいきぶんるいひょう) JSFI00083

刊行者 農務省水産局
備考

刊行年月 m22.07

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

農務省水産局が日本水産史を編纂するにあたり、その中の捕採誌に属する水産物の捕獲方法を分類した表

番号 229(74) 水産改良説 第2編 (すいさんかいりょうせつ だい2へん) JSFI00084

刊行者 静岡県
備考

刊行年月 m23.05

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

静岡県が水産改良増殖を図るために農商務省水産局員の河原田盛美氏を招聘。氏が各郡の沿海村を巡回して行った説話を筆記して、それをまとめた図書

番号 227(75) 水産博覧会第3区出品審査報告 (すいさんはくらんかいだい3くしゅっぴんしんさほうこく) JSFI00085

刊行者 農務局
備考

刊行年月 m17.06

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

水産博覧会に出品された第3区からの出品物の審査について、その全体の評論を記した報告書

番号 352(76) 水産博覧会報告 (すいさんはくらんかいほうこく) JSFI00086

刊行者 農務局
備考

刊行年月 m16.08

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

明治16年3月1日より同5月21日まで開催された水産博覧会の内容をまとえたもの。博覧会の計画、準備そして開催の顛末が記述されている。

番号 226(77) 水産集談会日誌 (すいさんしゅうだんかいにっし) JSFI00087

刊行者 千葉県農商課
備考

刊行年月 m17.06

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

明治17年6月24日から同29日まで千葉県県会議事場において行われた第3回水産集談会開会中の談話、演説の要領をまとめたもの

番号 225(78) 水産集談会日誌 (すいさんしゅうだんかいにっし) JSFI00088

刊行者 千葉県農商課
備考

刊行年月 m17.06

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

明治16年6月11日より同16日まで千葉県県会議事場において開催した水産集談会の内容をまとめたもの。内容は、明治16年3月1日より6月8日まで東京で開催された水産博覧会を参観して各自が感覚した事や将来の水産業発展の道を談話したこと等から成る。参加者は、千葉県水産篤志家者70有余名、和歌山・鳥根・秋田県の篤志家3名

番号 234(79) 水産小学 巻下 (すいさんしょうがく かんげ) JSFI00089

刊行者 河原田盛美
備考

刊行年月 m15.06

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

水産物の製造方法と産地、国内外への販路、天災時に備えた普段の生活、水産物の育成、秩序ある水産業の維持、水産統計・理化学の重要性、安全な漁業に役立つ気象の変化を予測する東京付近の言い伝えの例等が記述されている。和紙に印刷されている。

番号 235(80) 新潟県管内水産小学 下 (にいがたけんかんないすいさんしょうがく げ) JSFI00090

刊行者 細野清次郎
備考

刊行年月 m19.04

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

新潟県の水産物からの各種製造品、水産物の自然繁殖の方法、県内各郡の位置とその海浜の様子、主な水産物と産額について、まとめた図書。和紙に印刷されている。

番号 236(81) 新潟県管内水産小学 附図 全 (にいがたけんかんないすいさんしょうがく ふうぜん) JSFI00091

刊行者 細野清次郎
備考

刊行年月 m23.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

新潟県内の水産物の種類、それ等を収穫する種々の方法、収穫した水産物を製品化する種々の方法、養殖の方法を図で表示した図書
説明文は一切記載されていない。

番号 236(83) 河蝦考 (かわずこう) JSFJ00092

刊行者 源真楫
備考

刊行年月 文政9年

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

源真楫著の河蝦(かわず)についての随筆。内容は、「序」を本居太平(文政9年(1826年)9月朔日の記あり)と藤原彦磨が書き、「河蝦考目録」、富安幸磨の「凡例」、源真楫の「河蝦考」、源朝臣直春などの「河蝦考和歌」、五車亭亀山などの「河蝦考戯咲歌」、湖鯉鮒の「河蝦考跋」から成る。

番号 257(84) 古奈村養鮭場報告 (こなむらようけいじょうほうこく) JSFI00092

刊行者 大日本水産会 刊行年月 m12.09 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

明治11年10月に静岡県君沢郡古奈村に設置された鮭鱒養魚場の沿革と稚魚の狩野川放流の顛末等について、第日本水産会から柳権悦水路部長への報告

番号 336(152) 測量野帳 (そくりょうやちょう) JSFI00093

刊行者 柳 権悦 刊行年月 m03 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 柳宗悦氏寄贈

水路局が発足する前年の明治3年8月～12月に英国測量艦「シルビア」と「第一丁卯丸」が瀬戸内海の塩飽(しあく)諸島の水路測量を実施した際の測量野帳と思われる。島々の対景図・見取り図、設標図(測点や補助点などの位置を記入した図)、測角簿などが筆・鉛筆で丁寧な絵(着色したものもある)と共に記入されている。「日本水路史」によると「日英合併測量にもかかわらず、柳御用掛以下の努力が実り、翌年の明治4年1月に「塩飽諸島実測図」を独自の手で完成。その照合を「シルビア」艦長に求めたら「シルビア」号の成果とほとんど一致する成果となっており、同艦長は明治政府への報告書に添えて、もはや他の助力を要せずに水路業務を実施することができると記したので、柳以下測員は大いに面目をほどこした。この実測図は、日本最初の水路測量図として水路業務史上に特筆されるべき存在だったが、大正12年の関東大震災に被災して失われた」と記されている。実測図の基になった貴重な資料。
柳宗悦氏寄贈

番号 430(157) 天文浅問抄 付抄譯 (てんもんあさといしょう ふしょうたん) JSFI00094

刊行者 柳 権悦 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 柳宗悦氏寄贈

番号 386(158) 磁石学 磯野健 訳 (じしゃくがく いそのけん やく) JSFI00095

刊行者 柳 権悦 関 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 柳宗悦氏寄贈

磁力・重力の確定を行うため、「磁石力」磁力・重力の測定方法などについて、磯野健氏が約したものを、校閲したもの。
柳宗悦氏寄贈

番号 343(159) 無題遺稿 五廉(むだいいこう 5れん) JSFI00096

刊行者 柳 権悦 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 柳宗悦氏寄贈

① 問答集 算法側円詳解及び算法楕円解と思われる。
② 和算書の綴り、内容(解説)不明。
③ 野帳16枚綴り、鈴鹿山脈(三重・滋賀の境界)油日(火)山周辺の測量野帳、見取り図・測角値が図載されている。
④～⑦ 和算書の綴り、柳氏は、「新巧」算法(3編3冊)」の第3編目を編さんしたとのことであるので、あるいは、その折の資料かもしれない。(和紙綴り)
柳宗悦氏寄贈

番号 421(120-) 外国水路告示 (がいこくすいろこくじ) JSFI00097

刊行者 *** 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

フランス、イタリア、ドイツの水路告示

番号 381(153-) 測量看取図及対景図 (そくりょうみとりずおよびたいけいず) JSFI00098

刊行者 柳 権悦 刊行年月 m05.05～07 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 柳宗悦氏寄贈

明治5年5月23日から7月12日に明治天皇は、軍艦「龍驤」で京阪並びに山陽西海を巡幸された。柳権悦は「第二丁卯」艦に乗り組み御召艦の水路を先導したが、その際に記録した沿岸や水路の見取り図と対景図。ファイルに「初代部長手記(年代未詳艦長時代?)」と書かれた用紙が挟まれているが、資料の見取り図・対景図・そして図の中に書かれた鉛筆書きのメモの内容が、「海軍天覧記・巡幸水路日誌」の内容と一致する箇所が多く見られる。
柳宗悦氏寄贈

刊行者 海軍省水路局

刊行年月 m18.01

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

第一回大集要録 明治18年1月24日開催の第一期大集会について、21名出席 本曾設立の起原研究し、才識知能の磨礪に
明治17年2月13日からの経過 会計決算報告(明治17年2月～明治17年12月)
富士山の見界 陸上では東は常陸、西は遠江、北は下野信濃に到る13州から、海上では東方は鹿島洋、西方は志州海岸に至るまで、
およそ中土南岸地方に面した太平洋中より望見される。八丈島よりは、晴天の日、1年に10余回富士を見る事あり。
渦形山畫法 地図に渦線を用いて山岳を畫く方法
第七・八・九回小集要録 第七回 明治18年2月21日に、第八回は3月21日に、第九回は4月18日に開催
北極星により緯度を測定するに要する第一・第二・第三改正率の原理。北極星の測角値に三つの改正数を施して測地の緯度を求める方法
六分儀の使用上の注意 正しい角度を測定するために行う器差の修正方法。測定技術の習熟方法
雨の説 雨の生じる理由、雨滴の直径・速力、地球表面上の雨量の多寡、赤道直下の雨帯、降雨の日数、山岳の降雨に及ぼす影響などの
解説
第十回小集要録 明治18年5月18日開催
潮汐現象の理解 太陰及び太陽による起潮力につての解説
雨の説承前 大洋に面した地の影響、年間の降雨の多少、砂漠地の雨などについての解説
第十一回小集要録 明治18年8月18日開催
天學篇 英国海軍本部出版學術探求録・天學の部の譯述
航海測量にあつては、常に航海天文学の法式を改良し、天文地理学に精通すること 六分儀・経線儀使用上の注意点を詳細に解説

刊行者 兵事新報社

刊行年月 m23.05.11

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

陸・海軍兵制の進歩、国防軍備の確立、軍政の今後の針路、世界の兵勢、列国の強弱等を記述した小冊子。日本は、維新以来欧米の文明
の影響をあらゆる面を受け、兵事も面目を一新してきたが、欧米諸国に比べたら、未だかなり遅れていること、また議会の開会が近日に迫り、
幾多の政党が樹立され、各党は兵制の改良を訴えたりする中で、国民に兵事への関心を深めるために発行された図書。内容には、軍人の
叙任・辞令、欧米諸国の軍事の動静・技術等に加えて、広告(物理・数学・化学関係の図書、詩文の添削・批評等)も掲載されている。
冊子の体裁は14.5 cm × 21.5 cm。ページ数は、約40ページ前後である。

刊行者 ***

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

山口県下関の赤間関と彦島間の埋め立て・浚渫についての計画図が3葉ある

刊行者 ***

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

青森県海産物調査書:青森県輸出海産物統計便覧(魚類・貝類・海藻類などに分けて記述)
聯合水産共進會報告:水産の改良進歩の成績を比較し、同時に製造方法の得失、販路の拡張を図ることを目的に、東京都・神奈川県・
千葉県・茨城県・福島県・岩手県・青森県・秋田県・山形県・宮城県が聯合して結成した会で、明治21年4月に宮城県の石巻で開催した
会の報告
草稿一部:柳樹悦が旅の途中に清水から東京まで三菱社の汽船を利用した際の船中の様子を述べた随筆「後撰算法叢書 晩香亭蔵」と
印刷された和紙に筆字で書かれている。晩香亭は、柳樹悦の書齋名。

刊行者 海軍省水路部

刊行年月 m21.06

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

浅所・沈船などの危険物の発見、航路標識の新設・廃止等、航海者への緊急に速報すべき事項をまとめたもので、水路通報の最初のもの。
第111号(明治15年11月27日発行)から第169号(明治17年3月21日発行)までが、まとめて綴られている。
第111號(明治15年11月27日)～第169號(明治17年3月21日)の水路通報
第十號
第十一回小集要録 明治18年8月18日開催
天學篇 英国海軍本部出版學術探求録・天學の部の譯述
航海測量にあつては、常に航海天文学の法式を改良し、天文地理学に精通すること 六分儀・経線儀使用上の注意点を詳細に解説

刊行者 内外兵事新聞局

刊行年月 m09.03

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

内外兵事新聞局が陸・海軍に係る公報・行事・制度の沿革・學術・論説、海外各國陸・海軍の形勢・沿革・器械の發明等を集録して小冊子
(大きさ 12cm×18cm、ページ数 30ページ前後)にまとめたもの。毎週日曜日に発行。第1号(明治9年3月13日発行)から第18号(明治
9年7月10日発行)までが、まとめて綴られている。

刊行者 内外兵事新聞局

刊行年月 m12.09-11

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考

内外兵事新聞局が陸・海軍に係る公報・行事・制度の沿革・学術・論説、海外各国陸・海軍の形勢・沿革・器械の発明等を集録して小冊子(大きさ 12cm×18cm、ページ数 30ページ前後)にまとめたもの。毎週日曜日に発行。第214号(明治12年9月21日発行)、第216号(12年11月9日発行)から第221号(明治12年11月9日)までが、まとめて綴られている。

刊行者 柳 樹悦

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

備考 袋入/手紙類多数あり

- (1)「古今名人算者鑑」古今の数学図書の著者・編者と図書名が相撲の番付表に摸した表に大関、関脇、小結、前頭に分けて記載されており、前頭として柳樹悦が、釣受等法、方圓究理立表、矩合新書の3冊の著書と一緒に書かれている。表の大きさは、37.5cm×49.5cmである。嘉永5年(1852年)作成
- (2)「当時名人算者鑑」数学者名と出身地が相撲の番付表に摸した表に大関、関脇、小結、前頭に分けて記載されている。柳樹悦の数学の師、村田佐十郎恒光が世話役として記載されている。表の大きさは、37.5cm×49.5cm。天保12年(1841年)作成。
 - (1)、(2)共に和紙の袋に入れられ、袋の表に古今名人算者鑑、当時名人算者鑑と書かれ、袋の裏側に勢陽津城、慈柳軒蔵と記載あり。
- (3)「便り」三重県下先賢事蹟調査委員 正七位文学士 橋本唯三郎氏から石川洋之助氏宛ての手紙。御大典の記念事業として三重県下の先賢事蹟を調査し、それを天覧に供し、また都市町村に頒ち、後進の鑑とすることになった事。その調査委員に橋本氏が任じられた事。三重県津市出身の故柳樹悦少将の事蹟を石川洋之助氏に依頼したい事が書かれている。
- (4)「柳樹悦様への封書」差出人は石川洋之助。内容は、三重県下先賢事蹟調査委員 橋本唯三郎氏へ柳樹悦氏に関する資料を送付した事の報告。大正4年9月7日、后2-3の消印がある。
- (5)「柳樹悦殿宛ての橋本唯三郎氏からの封書」三重県下先賢事蹟調査委員 正七位文学士 橋本唯三郎氏から柳樹悦氏の夫人 柳樹悦子様宛ての封書。内容は、御大典を記念して三重県下の先賢の事蹟を調べ、その遺芳を集めた図書を著し、上は天覧、下は都市町村に頒ち、後進の鑑とすることにして、その調査委員に任じられたので、柳樹悦少将の生誕地、出生年月日、海軍に関する功績、その事蹟、老後の生活等の目録を依頼している。大正4年9月7日、后10-12の消印がある。
- (6)「手紙の草稿」三重県下先賢事蹟調査委員 橋本唯三郎氏への返書の草稿と思われる。和紙に筆字で書かれ、文末に差出人として柳樹悦の御子息3人、悦多、樹高、宗悦の名が記載されている。事蹟調査後の編纂図書の送付方を依頼している。
- (7)「お父様の事 三人」柳樹悦氏の経歴等についての問い合わせに対するご家族3人(長男・悦多、次男・樹高、三男・宗悦)からの返書の草稿と思われる。和紙の巻紙に筆字で書かれており、父の経歴、性情、嗜好、学歴等に関しては直接の知識がないので、亡父の親友又は徒弟の方から直接の報告を得られるようにと書かれ、青年時代、海軍時代、元老院・貴族院時代、三重県時代、水産業・養殖真珠に関する事について、問い合わせる具体的な氏名を挙げている。また、和算・西洋数学の研究や紹介、天文学の研究、天文台の建設、水産関係では海藻及び貝類の採集・研究に励み、そして歌道を嗜んで多くの短歌、長歌の自作等を遺したが、明治22年に発生した火災で資料、文献の類を殆ど焼失したこと。文末に柳樹悦死去(明治24年1月14日)当時と、それから24年後の現在の家族の氏名、年齢、現在の動静が書かれている。
- (8)「柳樹悦が書いた橋本唯三郎氏宛ての手紙」大正4年9月9日に柳樹悦の長男の柳樹悦多が橋本唯三郎氏へ送った手紙の草稿と思われる。柳樹悦が死去した時は児等は幼少だったので、そして樹悦を知り、恩顧を受けた人も夭折された方が多く、樹悦の経歴、性格、嗜好、学歴等に関する知識が乏しいので、母・勝子と長年柳家に仕えた(38年間)老女から聞き及んだ事をまとめて記述している。明治24年1月柳樹悦死去時及び24年後の大正4年の家族の名前、年齢、現状も書かれている。
- (9)「観象台視察に関する書」明治11年3月8日、柳樹悦の欧米諸国の観象台視察を祝したはなむけの言葉と励まし、旅の無事を祈って書かれた文。伊東少将、真木少将等の名が書かれている。
- (10)「算題類選 全」柳樹悦が編纂した数学の問題集。巻之一 放物線の部、巻之二 楕円線の部、巻之三 双曲線の部に分かれ、放物線は200題、楕円線は200題、双曲線は100題が出題されている。叙に普段は公務に専心従事するため出来なかったが、太政官辞令を受けて欧米諸国の観象台視察の機会が与えられたので、70日程の日程の間の余裕をみて、編纂したと書かれている。
- (11)「明治15年諸税」柳樹悦が東京府に収めた明治15年の税金の領収書。
 1. 明治15年前半期分(明治15年1月~6月)の地租並地方税領収書。明治15年度前半期(明治15年7月~12月)の車税(二人乗)
 2. 明治15年後半期分(明治15年7月~12月)の地租並地方税領収書。明治15年度後半期(明治16年1月~6月)の車税(二人乗)
- (12)「馬関、天草出張出納簿」水路局長の柳樹悦が、明治18年に馬関、天草方面に出張した際の旅費の支出を記録した綴り。新橋~横浜の汽車賃、横浜~神戸の船賃、宿賃、食事代、電報料、郵便代、医師への謝礼・薬代、墨・筆の代金、散髪代、煙草代等が細かく記録されている。最後のページには、支出の合計金額、残金が書かれ、明治18年9月27日 柳樹悦の署名がある。19.0cm×13.5cmの和紙の綴りで、筆字で書かれている。
- (13)「柳樹悦の記録」水路寮と印刷された和紙の封紙に筆字で書かれた柳樹悦の記録。明治2年11月4日に兵部省より上京の命があつてから明治3年4月2日に上京するまでの津における紆余曲折の記録と柳樹悦が海軍に従事してから最初の測量となる南海測量についての記録が一緒に綴られている。南海測量は、英国艦シルビア号と柳等が乗艦した第一丁卯との共同測量であるが、早期の横浜出港を強要する英国公使の強硬な態度、測量器材の不足のため英国艦からの借用、肉不足に悩む英国艦への牛の提供等の対応が淡々と書かれている。
- (14)「大日本水産会報告第百六號の抜抄」明治24年2月に大日本水産会が発行した、柳樹悦の経歴をまとめた記録。出生、長崎伝習所でオランダ人から航海術、数学を学んだ事、海軍に出仕して水路業務に励んだ事、日本の水産業の指導、発展に貢献した事等が詳しく書かれている。和紙の封紙に筆字で書かれている。
- (15)「日本海軍海圖略史」海図の販売・改補を行っていた日本郵船会社が、明治35年にヨーロッパで開催された万国博覧会に日本海軍海図を出品するに当たり作成した海図に関する沿革説明書。
- (16)「柳樹悦の経歴の綴り」柳樹悦の経歴が二つ、和紙に筆字で書かれ、綴られている。
 1. 天保3年9月15日、東京下谷の藤堂藩邸で出生、20歳で津に転任、23歳の時に藩命により長崎海軍伝習所に派遣、帰藩後の役務、また津藩の汽船・清渚丸、二番大阪丸に乗り組むまでの経歴が書かれている。
 2. 「履歷明細書」海軍に従事し、最初の測量となった 明治3年5月8日 南海測量申し付けの事 から始まり、明治24年1月15日までの経歴が年ごとに詳しく書かれている。
- (17)「柳樹悦死去に伴う諸々の記録」
 1. 「柳樹悦の葬儀の義(海軍葬式)」についての文書 海軍大臣 樺山資紀から遺族宛てになっている。
 2. 「柳樹悦の海軍在官中の履歷」の下付についての文書 海軍大臣 樺山資紀から遺族宛てになっている。
 3. 親族から第一師団司令官宛ての「葬儀の日時、場所等についての申上」、親族の南郷茂光から貴族院議長 伯爵 伊藤博文あての「死亡届」等の下書き 和紙に筆字で書かれている。

袋入/手紙類多数あり

番号 423 羅針儀自差論 (らしんぎじさろん) JSFI00107

刊行者 柳 樽悦 刊行年月 m20 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

海軍少佐従六位 磯野健 校閲、海軍五等技師 正七位 中川将行 譯述の 艦船に設置した羅針儀の磁針が示す方位の誤差の原因、修正方法、その実際の測定例等を詳しく解説した図書。本の大きさ 13cm×20.5cm、ページ数 190ページ。

番号 435(9) 水路報告 第212 ~ 224號 (すいろほうこく) JSFI00108

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m18.07 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

水路報告第212號(明治18年8月17日)から第234號(明治19年1月18日)までの水路通報の綴り

番号 486 柳部長肖像関係文書 (やなぎぶちょうしょうぞうかんけいぶんしょ) JSFI00110

刊行者 *** 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

三浦昇三氏から贈呈された初代水路部長 柳樽悦氏及び同夫人の肖像写真…第五管区海上保安本部水路部長より海上保安庁水路部監理課長宛ての文書(五水監第16号 昭和52年1月22日)あり

番号 487 柳部長胸像作成関係文書 (やなぎぶちょうきょうぞうさくせいかんけいぶんしょ) JSFI00111

刊行者 *** 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 袋入

◎(年不明)12月12日付け 谷口尚真大將(柳樽悦の次女 直枝子(すえこ)の夫)より山口大佐宛ての便り
縁故者ということで、お尋ねがあったが、醸金に遺族、親戚が率先して募集に応じるのは自画自賛になると思われるので、ご遠慮するのが適切かと思う。先ずは、貴部の計画を承り、その計画に対して部内の醸金があって、その状況を知らせてもらってから、遺族、親戚に勧誘をいたしたい
◎部内高等官各位宛ての発起人からのお願い 昭和4年9月
関東大震災(大正12年9月)後に復興する庁舎の会議室に安置する柳樽悦の胸像作製経費の醸金を部内の有志並びにOBに賛同のお願い(捧給の200分の1の寄付)
◎昭和4年10月18日 谷口大將より山口大佐あての便り
柳海軍少將の肖像写真を別封で送付する、歌集も後から送付する。写真2葉(制服姿の写真、帝国美術院第拾回美術展覧会「男」上条俊介氏作の写真)
◎昭和8年5月 水路部復興工事報告…水路部要目、略歴
◎昭和8年9月26日 記念物建設に関する件申進 水路部長より海軍次官あて
旧築地海軍用地に記念物建設に関する趣意…旧築地海軍用地は、海軍発祥の地であり、由緒ある名園浴恩園の址でもあり、記念すべき所なので、適当な設備を施し、永久に記念すべきである。(丘陵周囲にコンクリート壁を設置、壁に由来記の銅板を植え込む、丘陵の頂に「帝国海軍発祥之地」の石碑を建立)
◎府下第貳大区十小区築地四丁目一番地 海軍省廓内之図
昭和7年2月複写 水路部…浴恩園を中心として、海軍省、兵学校、海軍操練所跡 等
◎浴恩園全景の図
◎幕府が築地の松平安藝守下邸に海軍伝習所を設けた頃の図…文久元年の江戸図による
◎水路部が海軍造兵廠跡地に移る頃の図
◎日本数学物理学会創立50周年記念大会に於ける理学博士 中村清二氏講演記事抜粋
本会創立当時(明治10年9月、神田孝平及び柳樽悦が主唱者となり同志117名が湯島の昌平館で会合)から今日まで(年不明)の会の発達の歴史の略述
袋入

番号 柳文庫目録 (やなぎぶんこもくろく) JSFI00112

刊行者 *** 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

柳氏寄贈図書を記載した目録の綴り。書名、著者、刊行年月、部数、冊数が表になって、まとめられている。

番号 86 Sailing Directions South Part of Japan (Sailing Directions South Part of Japan) JSFI00113

刊行者 W.H.Rosser. 刊行年月 宝暦13 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 88 Aneroid Barometer, How to buy & How to use It. (Aneroid Barometer, How to buy & How to use It.) JSFI00114

刊行者 Meterological 刊行年月 m07 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

-
- 番号 89 **Weather Warnings for Watchers. By "The Clerk" (Weather Warnings for Watchers. By "The Clerk")** JSFI00115
- 刊行者 London. 刊行年月 m10 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 90 **Descripton of Davis' Elevating Telescopic Tower & Observatory, (Descripton of Davis' Elevating Telescopic Tower & Observatory,)** JSFI00116
- 刊行者 Sons. J.W.Davis. 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 92 **Identification of Sir Francis Drake's Anchorage on The Coast of California. (Identification of Sir Francis Drake's Anchorage on The Coast of California.)** JSFI00117
- 刊行者 California Historical S 刊行年月 m23 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 93 **Harper's Hand-Book for Travellers in Europe (Harper's Hand-Book for Travellers in Europe)** JSFI00118
- 刊行者 W.Pembroke Fetrudg 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 94 **Programmes of New System of Tours, From Bristol to the Land's End, ... (Programmes of New System of Tours, From Bristol to the Land's End, ...)** JSFI00119
- 刊行者 Thos.Cook & Sons. 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 95 **Royal Botanic Society of London (Royal Botanic Society of London)** JSFI00120
- 刊行者 Gardens, Regents Pa 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 96 **British Wild Flowers. (British Wild Flowers.)** JSFI00121
- 刊行者 C. Pierpoint Johnson. 刊行年月 m07 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 97 **Guide to the Gardens of Zoological Society of London. (Guide to the Gardens of Zoological Society of London.)** JSFI00122
- 刊行者 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 98 **Guide to the Exhition Rooms of the Department of Natural History and Antiquities. (Guide to the Exhition Rooms of the Department of Natural** JSFI00123
- 刊行者 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 99 **The Tower of London. A Hand-Book Guide Visitors (The Tower of London. A Hand-Book Guide Visitors)** JSFI00124
- 刊行者 H.G. Clarke & Co. 刊行年月 文久04 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-

-
- 番号 100 **Coast Steel Manufactory of Friend. Krupp. (Coast Steel Manufactory of Friend. Krupp.)** JSFI00125
刊行者 Philadelphia Exhibitio 刊行年月 m09 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 101 **Report of the Astronomer to the Marine Committee, for 1872 (Report of the Astronomer to the Marine Committee, for 1872)** JSFI00126
刊行者 刊行年月 m06 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 102 **Report of the Astronomer to the Marine Committee, (Report of the Astronomer to the Marine Committee,)** JSFI00127
刊行者 *** 刊行年月 文久03 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 103 **Report of the Kew Committee for the year ending Oct. 31, 1877 (Report of the Kew Committee for the year ending Oct. 31, 1877)** JSFI00128
刊行者 *** 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 104 **Sounding Voyage of Her Majesty's Ship "HYDRA" (Sounding Voyage of Her Majesty's Ship "HYDRA")** JSFI00129
刊行者 Hydrographic Office 刊行年月 m02 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 105 **Almanach fur die K.K.Kriegs-Marine 1880 (Almanach fur die K.K.Kriegs-Marine 1880)** JSFI00130
刊行者 Kleinmayr & Fed. 刊行年月 m13 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 106 **Fuehret durch das Berliner Aquarium. (Fuehret durch das Berliner Aquarium.)** JSFI00131
刊行者 Berliner Aquarium 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 107 **Ueber den Zustand der practischen Astronomie in America. (Ueber den Zustand der practischen Astronomie in America.)** JSFI00132
刊行者 Prof.Dr. E. Weiss 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 108 **Ein neues Mikroskop fur mineralogische und petrographische Untersuchungen, (Ein neues Mikroskop fur mineralogische und petrographische** JSFI00133
刊行者 *** 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 109 **Israelitisches Blinden-Institut, auf der Hohen Warte bei Wien. (Israelitisches Blinden-Institut, auf der Hohen Warte bei Wien.)** JSFI00134
刊行者 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-

-
- 番号 110 **Raport du Directeur de L'Observatoire Cantonal de Neuchatel sur le Concours des Chronometres. (Raport du Directeur de L'Observatoire** JSFI00135
刊行者 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 111 **La Section photographique et Artistique de la Direction Generale des Travaux Geographiques du Portugal. (La Section photographique et Artistique** JSFI00136
刊行者 刊行年月 m10 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 112 **Acierie de Fried. Krupp a Essen. (Acierie de Fried. Krupp a Essen.)** JSFI00137
刊行者 Unives. Philadelphie 刊行年月 m09 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 113 **Les Vingt Arrondissements de Paris. (Les Vingt Arrondissements de Paris.)** JSFI00138
刊行者 L. Thuillier. 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 114 **Noord-en Middem- Duitschland. (Noord-en Middem- Duitschland.)** JSFI00139
刊行者 P.B. Plantenga. 刊行年月 文久03 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 115 **De Invoering en Verklaring van den Aeroklinoskoop. (De Invoering en Verklaring van den Aeroklinoskoop.)** JSFI00140
刊行者 Dr.Buijs. Ballot. 刊行年月 慶応04 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 116 **Manoeuvres met Zeil-en Stoomschepen. (Manoeuvres met Zeil-en Stoomschepen.)** JSFI00141
刊行者 G.P.J. Mossel. 刊行年月 元治02 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 117 **Handleiding tot de Kennis van Het Schip. (Handleiding tot de Kennis van Het Schip.)** JSFI00142
刊行者 G.P.J. Mossel. 刊行年月 安政06 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 118 **Aarsbereting vedkommende Norges Fiskerier for 1902 (Aarsbereting vedkommende Norges Fiskerier for 1902)** JSFI00143
刊行者 刊行年月 m35 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 119 **Eau Minerale et Thermale de la Bourboule source Choussy. (Eau Minerale et Thermale de la Bourboule source Choussy.)** JSFI00144
刊行者 刊行年月 1875? 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-

-
- 番号 131 **A Catalogue of Selected Books (A Catalogue of Selected Books)** JSFI00145
- 刊行者 Edward Stanford 刊行年月 ? 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 132 **Catalogue of W. & R. Chambers's Publications. (Catalogue of W. & R. Chambers's Publications.)** JSFI00146
- 刊行者 London & Edinburgh 刊行年月 m10 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 133 **Eckhold's Patent Omnimeter (Eckhold's Patent Omnimeter)** JSFI00147
- 刊行者 Elliott Brothers 刊行年月 ? 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 134 **Mathematical, Optical & Philosophical Instruments. (Mathematical, Optical & Philosophical Instruments.)** JSFI00148
- 刊行者 Elliott Brothers 刊行年月 m11 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 136 **Catalogue of Guns, Rifles, Revolvers. (Catalogue of Guns, Rifles, Revolvers.)** JSFI00149
- 刊行者 Watoson & Son. 刊行年月 ? 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 137 **Standard Meteorological for Observatories, Travellers & Explorers, (Standard Meteorological for Observatories, Travellers & Explorers,)** JSFI00150
- 刊行者 L. Casella 刊行年月 ? 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 138 **Optical, Mathematical and Surbeying Instruments, (Optical, Mathematical and Surbeying Instruments,)** JSFI00151
- 刊行者 Watoson & Son. 刊行年月 ? 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 139 **New Catalogue of Opera, Race, Field, & Tourist Glasses, etc. (New Catalogue of Opera, Race, Field, & Tourist Glasses, etc.)** JSFI00152
- 刊行者 J.H. Steward's 刊行年月 ? 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 140 **Dent of The Dipleidoscope. (Dent of The Dipleidoscope.)** JSFI00153
- 刊行者 E. Dent & Co. 刊行年月 ? 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 141 **Cruchley's Maps & Atlases. (Cruchley's Maps & Atlases.)** JSFI00154
- 刊行者 Gall & Inglis. 刊行年月 m10 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考
-

-
- 番号 142 **Containing Biographical & Descriptive Sketches of the Distinguished Characters. (Containing Biographical & Descriptive Sketches of the** JSFI00155
刊行者 Madame Tussaud & **刊行年月** m11 **所蔵者** 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 143 **Catalogue of Photographic Lenses, Cameras, Apparatus. (Catalogue of Photographic Lenses, Cameras, Apparatus.)** JSFI00156
刊行者 Watoson & Son. **刊行年月** ? **所蔵者** 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 144 **Catalogue of Chronometers, Astoronomical, Turret, & Other Clockes. (Catalogue of Chronometers, Astoronomical, Turret, & Other Clockes.)** JSFI00157
刊行者 E. Dent & Co. **刊行年月** ? **所蔵者** 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 145 **Verzeichniss der an der Sternwarte bei Munchen in den estan ... Etc. (Verzeichniss der an der Sternwarte bei Munchen in den estan ... Etc.)** JSFI00158
刊行者 **刊行年月** ? **所蔵者** 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 146 **Katalog des Postmuseums im Kaiserlichen General-Postamt zu Berlin. (Katalog des Postmuseums im Kaiserlichen General-Postamt zu Berlin.)** JSFI00159
刊行者 **刊行年月** m11 **所蔵者** 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 147 **Verzeichniss Chem. Und Pharmac. Gebrauchsartikel von Porzellan. (Verzeichniss Chem. Und Pharmac. Gebrauchsartikel von Porzellan.)** JSFI00160
刊行者 W.J.Rohrbeck, J.F.Lu **刊行年月** 嘉永05 **所蔵者** 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 148 **Preis-Verzeichniss, Fabrication Meteorologischer Instrumente und Glas-Praecisions-Apparate. (Preis-Verzeichniss, Fabrication Meteorologischer** JSFI00161
刊行者 JG Greiner Jr. & Geis **刊行年月** ? **所蔵者** 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 149 **Abtheilung II. Apparate Fur Chemie und Pharmacie. (Abtheilung II. Apparate Fur Chemie und Pharmacie.)** JSFI00162
刊行者 **刊行年月** ? **所蔵者** 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 150 **Prix-Courant Illustre de la Fabrique de Telegraphes. (Prix-Courant Illustre de la Fabrique de Telegraphes.)** JSFI00163
刊行者 **刊行年月** m10 **所蔵者** 海上保安庁海洋情報部
備考
-
- 番号 151 **Officine Calileo, Catalogo Illustrato degle Strumenti Graficli, Topograficli, Geodeticli, Astoronomicli, e Idraulicli. (Officine Calileo, Catalogo Illustrato degle** JSFI00164
刊行者 **刊行年月** m09 **所蔵者** 海上保安庁海洋情報部
備考
-

番号 490(157) 天文浅問抄 (てんもんせんもんしょう) JSFI00166

刊行者 内外兵事新聞局 刊行年月 m13.10 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 海軍大佐 柳樹悦編

柳樹悦が拋物線の問題について著した数学の書。係数、数式等の記法が漢字で表現されたりしているので、昭和10年12月に第四課長秋吉利雄大佐が第四課天文部の小野田実技生に命じて、分かり易い近時の表現方式に直したものが、併記してある。
海軍大佐 柳樹悦編

番号 635(156) 藩海実測稿 (はんかいじっそくこう) JSFI00168

刊行者 内外兵事新聞局 刊行年月 文久02 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 1862 (柳部長遺稿)

表紙に「文久二壬戌業月25日 1862. 9. 18 木曜日 練理堂」と記されている。文久2年(1862年)6月に幕府による伊勢・志摩・尾張沿岸の測量が始められたが、その際に津藩から柳樹悦等が参加しているため、本稿は、その際の岸線測量の野帳かと思われる。和紙に毛筆で、目標物への角度、距離、海岸地形の見取り図等が記入されている。表紙裏には、測量に従事した村田佐十郎恒光、柳惣五郎樹悦等6名の津藩士の氏名が書かれている。表紙に書かれている「練理堂」は、柳樹悦が数学の仕事に好んで用いた雅号である。
1862 (柳部長遺稿)

番号 (31) 泰西演習航海術推算 (たいせいえんしゅうこうかいじゅつすいさん) JSFI00170

刊行者 勢州 練理堂 刊行年月 安政05 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 1858 勢州練理堂

長崎伝習所でのノート(メモ帳?)、一部鉛筆書き。
航海当直の事、洋図上(海図?)における速力・距離の計算方法、尺度の違い、磁気コンパスの取扱法、海上・陸上の測量方法、陸地測量について、気圧計、風、潮流など多岐に亘っている。
(和紙綴り冊子) 練理堂は、柳本人の雅号
1858 勢州練理堂

番号 405 水路誌編輯心得・験潮心得・経線儀取扱心得 (水路誌編集ころろえ・けんちょうころろえ・けいせんぎとりあつかいころろえ) JSFI00173

刊行者 海軍省水路局 刊行年月 m14.05 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考 海軍水路局

番号 424 江戸時代の暦類 (えどじだいのれきるい) JSFJ00059

刊行者 *** 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

柳樹悦が収集したと思われる弘化3年(1846)から慶応3年(1867)までの冊子形式の江戸暦23冊が綴られている。
元号の新しい順に綴られており、一番最初にある慶応3年の暦の表紙裏には筆字で
「夫 曆 ハ 歳 月 日 時 分 秒 明 ニ スル ノ 書 ナレバ 仰 尊 バズン ハ アル ヘ カラス 時候 ノ 遅 速 日 月 之 何 ハ サラニ 閏 月 ノ 節 ニ 随 ヘル 預 シメ 其 理 ヲ 弁 ズン ハ 公 ヨリ 頒 チ 行 ヒ 玉 ヒ シ 本 旨 ニ 差 ヲ ベシ 予 幼 ヨリ 曆 ヲ 好 ミ 子女 ノ 生 誕 ハ 勿 論 天 ノ 變 地 妖 マテモ 頓ニ 記シ 置 ヲ 乃チ 其 簡 易 ヲ 要 ト スル 也 今」
と和紙に書かれた文が貼り付けられている。

番号 経緯度表 (けいいどひょう) JSFI00179

刊行者 *** 刊行年月 所蔵者 海上保安庁海洋情報部
備考

番号 量地括要 1 (りょうちかつよう 1) JSFI00180

刊行者 柳 樹悦 刊行年月 m04 所蔵者 国立公文書館
備考

番号 量地括要 2 (りょうちかつよう 2) JSFI00175

刊行者 柳 樹悦 刊行年月 m04 所蔵者 国立公文書館
備考

番号 西肥五島之内福江島玉之浦之図 (せいひごとうのうちふくえじまたまのうらのず) JSFI00176

刊行者
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 西肥五島之内福江島玉之浦之図考察1-4 (せいひごとうのうちふくえじまたまのうらのずこうさつ1-4) JSFI00177

刊行者
備考

刊行年月

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

番号 春日記行 (かすがきこう) JSFI00178

刊行者
備考

刊行年月

所蔵者 北海道立文書館

番号 観象雑誌 第2号 (かんしょうざっし だい2ごう) JSFH00198

刊行者 海軍水路局観象課
備考

刊行年月 m16.02

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

日本における磁気測量の端緒となる、欧米各国が実施する観測に参加(1882年8月から翌年8月)した経緯などを、柳水路局長及び磯野観象課長が緒言で述べている。

測量報告: -- 偏差之測量・傾差之測量・偏鍼角之測量・揺振時之測量

番号 観象雑誌 第4号 (かんしょうざっし だい4ごう) JSFH00199

刊行者 海軍水路局観象課
備考

刊行年月 m17.12

所蔵者 海上保安庁海洋情報部

明治14年及び15年の間に実測した、水星日面経過及び彗星測望の観測報告。肝付・磯野大尉他(全員13名)で観測。

リスト作成 2012年